

一年生雑草に優れた効果



メシバ



イヌビエ



イヌビユ



ハコベ



いちご



とうもろこし



大豆



落花生



えだまめ



キャベツ



だいこん



かぶ



ほうれんそう



ブロッコリー

えだまめ
ブロッコリー
に適用拡大!

畑作用土壌処理除草剤

ラッソー® 乳剤

©は日産化学(株)の登録商標

特長

- 土壌処理により、一年生雑草(特にイネ科雑草)に高い効果を示します。
- 広範囲の作物に使用できます。

■適用作物と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当たり使用量		本剤及びアラクロールを含む農薬の総使用回数	使用方法	適用地			
				薬量	希釈水量						
なし	一年生雑草	春～秋期(雑草発生前)但し収穫21日前まで	全土壌	500～600ml	100ℓ	2回以内	全面土壌散布	全域			
ぶどう		春～秋期(雑草発生前)但し収穫45日前まで									
とうもろこし 飼料用とうもろこし		は種後出芽前									
はとむぎ	一年生イネ科雑草	生育期1～2葉期(イネ科雑草2葉期まで)	全土壌	200～400ml	100ℓ	1回	雑草茎葉散布又は全面土壌散布	北海道			
かんしょ		は種後出芽前		300～600ml		2回以内	全面土壌散布	全域			
ばれいしょ		挿苗後(雑草発生前)但し収穫90日前まで		300ml							
だいず らっかせい えだまめ		植付後(雑草発生前)但し植付14日後まで		200～400ml		1回	全面土壌散布	北海道			
いんげんまめ		は種後出芽前		300～600ml							
キャベツ		定植8日後まで		300～400ml 150～200ml							
はくさい ほうれんそう だいこん かぶ のぎわな		一年生雑草		は種直後		壤土～植土	150ml	100ℓ	1回	全面土壌散布	全域
こまつな				50～100ml							
ブロッコリー		一年生イネ科雑草		定植後(雑草発生前)但し収穫60日前まで		全土壌	150～200ml	100ℓ	2回以内	全面土壌散布又は株間土壌散布	全域
いちご(親株床) いちご(子苗床) いちご(本圃) いちご(施設栽培)				植付後又は定植後(雑草発生前)但し収穫60日前まで							
てんさい(移植栽培)	移植後(雑草発生前)但し収穫60日前まで										
てんさい(直播栽培)	中耕培土後(雑草発生前期)但し収穫60日前まで										
さとうきび(春植又は夏植)	一年生雑草	移植後(雑草発生前)但し植付90日後まで	全土壌	400～600ml	100ℓ	2回以内	全面土壌散布	九州 沖縄			
ソルガム		は種直後(雑草発生前)							300ml		
桑		桑発芽前(雑草発生前)							400～600ml		
たばこ(無被覆栽培) たばこ(普通畦面被覆栽培)		定植前10～20日(雑草発生前)							200ml		
たばこ(折衷マルチ栽培)									100ml		

⚠️ 効果・薬害等の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。
- 本剤は、雑草の発芽後ではほとんど効果がないので、雑草の発芽前に散布してください。
- タデ科、アカザ科などの広葉雑草には効果が劣るのでイネ科雑草優占圃場で使用してください。
- 発芽直後のきゅうり及びねぎに対しては、薬害を生じるおそれがあるので、付近にこれらの作物がある場合は薬液が飛散してかからないよう十分注意して散布してください。
- はくさい、ほうれんそう、だいこん、かぶ、のぎわなでは薬害を生じるおそれがあるので砂質土壌での使用はさけてください。
- こまつなに使用する場合
 - 1) 砂質土壌では薬害を生じるおそれがあるので使用はさけてください。
 - 2) 播種時の覆土は1～2cmとしてください。
 - 3) 薬剤処理は土壌表面が乾いた状態で行なってください。
 - 4) 薬剤散布後の過剰の灌水はさけてください。
- 有機物を多く含む土壌や粘質土では、効果が劣る場合がありますので、所定範囲の高薬量で使用することが望ましいです。
- いちごに使用する場合
 - 1) 親株床では植付後およびランナー発生時の2回、また本圃では定植後及びマルチ前の2回散布し、体系で処理すると有効です。
 - 2) 本圃では、なるべく株に薬液がかからないように注意し、暖地では株間処理の方が安全です。
 - 3) 半促成栽培では、株間処理をしてください。
- いんげんまめに使用する場合、金時類(白金時類は除く)、中長うすら類にのみ使用してください。
- たばこに使用する場合
 - 1) 改良畦面被覆栽培では薬害を生じるおそれがあるので使用を避け、無被覆栽培、普通畦面被覆栽培では定植前10～20日(畦面被覆の場合は被覆の前)に処理してください。
 - 2) 本剤の処理によって初期生育が抑制されることがあるので、処理後定植までの日数は所定範囲でなるべく長くするようにしてください。
- さとうきびに使用する場合、ツノアイアシには効果が劣ります。
- ソルガムに使用する場合
 - 1) 砂質土壌では薬害を生じるおそれがあるので使用はさけてください。
 - 2) 播種時の覆土は3cm以上としてください。また散播では使用しないでください。
 - 3) 薬剤処理は土壌表面が乾いた状態で行なってください。
 - 4) 激しい降雨の予想される場合は使用しないでください。
 - 5) ソルガムは品種が多く薬剤に対する品種間差もあるため、使用の際は必ず病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- はとむぎに使用する場合
 - 1) 砂質土壌や有機物の少ない土壌、過湿な土壌では薬害を生じるおそれがあるので使用はさけてください。
 - 2) 播種時の覆土は3cm以上としてください。
 - 3) 薬剤処理は土壌表面が乾いた状態で行なってください。
 - 4) 激しい降雨の予想される場合は使用しないでください。
- 本剤は自動車などに散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないように注意してください。
- 本剤の散布や、調製に使用した器具類は、使用後水で十分洗浄してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2019年1月現在の登録内容に基づいています。



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号
ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>
お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00～17:30 土日祝日除く)